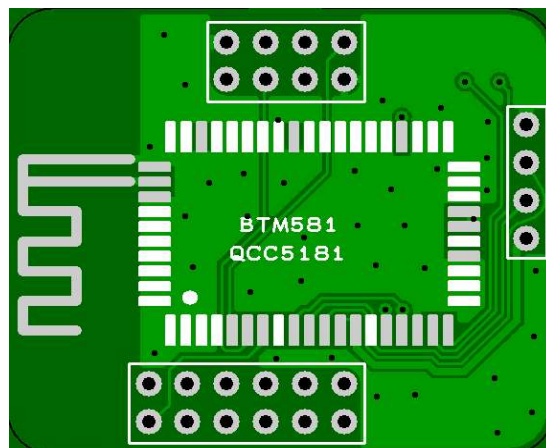


BTM581 Converter for Base MAX Ver2



USB Audioおよび、Bluetooth対応モジュールを、BaseMax Ver2にポン付けするもの

特徴

- ・ BTM581をBase MAX Ver2専用にしました。
Base MAX Ver2がUSB、BlueToothレシーバーになります。
- ・ PCにUSBでつなぐと、24bit/96KHzで使えます。
- ・ SBC/AAC/APTX HD, Adaptive, LossLess/LDAC/LC3/LHDCに対応しています。(モジュール次第です)
- ・ 今どきのサブスクをBase Max ver2で使えるので消費が抑えます。

その他、最新情報は以下のページを参照してください。

<https://www.telnet.jp/~mia/sb/>

黄色の部品のみ付属します

名称・定数	部品番号等	数量
メイン基板		1
1K 2012サイズ	R1-R3 千石 RK73B2ATTD102J	3
4.7K 2012サイズ	R4,R5 千石 RK73B2ATTD472J	2
100K 2012サイズ	R6 千石 RK73B2ATTD104J	1
10uF 10V	秋月 117593 C1-C4	4
2SC2712	秋月 102638 TR1 ランク不問	1
LDO 3.3V NJM2866F33	秋月 105448 REG	1
LED(2012サイズ)	秋月 2012だったらなんでも。色は揃えない方がいいと思う	2
ピンソケット 1×4	秋月 110099	1
ピンヘッダー 2×4	秋月 116793	1
ピンヘッダー 2×6	秋月 100166(これは2x7なので切って使う)	1
BTM581/QCC5181 (I2S versionが必要)	ALIEXPRESSを左記の名前で検索して。	1

※その他、カプトンテープ、はんだ等が必要になります。

免責事項

- 1) 本基板は実験基板であり、親切なキットではありません。 技術サポート等は一切行いません。
- 2) 基板の動作の完全性（安全性、動作性を含む）は一切保証されるものではありません。
- 3) 本資料を参考に組み立て（部品調達を含む）が可能な方を対象としています。
- 4) 部品調達に関する質問に一切お答えはできません。
- 5) 本基板使用に伴う事故等に関して、一切の責任は負いません。自己責任でお願いします。
- 6) 本基板の著作権は放棄していません。 同一のアートワークでの販売は禁止します。

低い部品から順番に実装すれば完成です。

本ボードがUSBに接続されると、96KHz/24bitのDDCとして動作します。

Base MAX Ver2側のJP2設定は、G13,G26、どちらでもOKです。

以上